

【教科教育学の実践的検証】

1. 目的・内容

- 教育現場の現代的・実践的な課題に「開発的・実践的研究」の方法論を用いて応えるリサーチスキルを、自らのフィールドワークを通して習得する。
- 実践校は、附属三原中学校。1年生または2年生で、3時間～4時間程度のコンパクトな小単元を開発、実践することを想定している。指導者は、兒玉または茂松を中心に、4人のTeam Teachingで行う。
- 考えられる小単元
 - ・ 見方・考え方を働かせる：変化を視点にアサガオを考察、「なぜ江戸時代に、なぜアサガオがブームになったのか」その原因を複数の視点から説明する
 - ・ 見方・考え方の働きを可視化する：志向ツールを活用する、クラゲチャート…チャートの表現を手掛かりにして、評価を行う

2. 授業展開

- 第1回：4月12日（水）3コマ
 - ・ オリエンテーション
 - ・ 目的の確認
 - ・ 分担と課題の確認
- 第2回：4月19日（水）3コマ
 - ・ 研究の目的，RQ
 - ・ RQに応えるための方法論
 - ・ 小単元の目標と学習過程
- 第3回：4月26日（水）3コマ
 - ・ ワークシート，教材リソース
 - ・ 毎時の学習活動－何のために，どんなことを，どのようにするか
 - ・ 評価の基準・規準－期待される学習成果の例

※ 一度、観察を含めて、打ち合わせに附属三原を訪問する。

- 第4回：5月10日（水）3コマ
 - ・ 授業の分析・評価の方法
観察記録（映像・音声），学習成果物，子どもに対するインタビューなど
 - ・ 研究の意義づけ（仮）

- 第5回：5月17日（水）3コマ
 - ・ 全体プレゼンテーションの予行練習

- 第6回：5月22日（月）6コマ 18時～20時
 - ・ 全教科が集合した研究・実践計画のプレゼンテーション

- 第7回～第11回
 - ・ 5月末から6月末をめどに授業の実施…**6月8日と9日に決定**
 - ・ カメラ，ICレコーダー等の準備
 - ・ 必要に応じて生徒へのインタビューの実施

- 第12回～第13回：7月27日（木）3-4コマ
 - ・ 授業の分析・評価の報告
 - ・ 授業改善への示唆
 - ・ RQに対する暫定的な答え
 - ・ 研究の意義づけ（再）

- 第14回：7月31日（月）2コマ
 - ・ 全体プレゼンテーションの予行練習

- 第15回：7月31日（月）6コマ 18時～20時
 - ・ 全教科が集合した研究・実践計画のプレゼンテーション